

平成 29 年度 支援教育実践研修D（肢体不自由に関する内容） 実施要項

1 目的 肢体不自由のある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人一人の障がいの状態や教育ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。

2 対象者 幼稚園、小・中学校、義務教育学校、府立高等学校(岸和田市立の定時制の課程を含む)、府立支援学校(八尾市立特別支援学校を含む)の教員

募集人数 20名

3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1	9月4日(月) 14:00~17:00	肢体不自由のある子どもの理解及び指導の実際 〔講義・演習〕	府立支援学校教員等 大阪府教育センター 指導主事等

4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担当室 支援教育推進室

6 その他 (1) 受付は30分前から
(2) 印鑑を持参すること
(3) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること
(4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと

平成 29 年度 研修のシラバス

1. 研修名	支援教育実践研修D（肢体不自由に関する内容） （研修番号 2253）
2. 研修の目的	<p>肢体不自由のある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人一人の障がいの状態や教育ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。</p> <p>目 標</p> <p>① 子どもの実態把握に基づいた指導の在り方、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成・活用について理解する。</p> <p>② 一人一人の教育ニーズに応じた指導の実際を考える。</p> <p>「OSAKA 教職スタンダード」該当項目：第 1 期 10, 第 2 期 10～12・15, 第 3 期 10・11</p>

3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	肢体不自由のある子どもの理解及び指導の実際	子どもの実態に応じた指導の在り方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 肢体不自由の特性を踏まえ、子どもの実態把握に基づいた目標・指導内容の設定について理解し、「個別の指導計画」を作成・活用する力を高める。 ● 実践発表を通じて「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた一人一人の教育ニーズに応じた指導の実際を知る。 ● 自立活動の指導の実際を知る。 ● 合理的配慮、基礎的環境整備を指導・支援にいかすことについて考える。 	
		支援機器等、アシスティブテクノロジーを子どもの支援に活かす方法を学ぶ。	講義を通して、支援機器等を活用した支援の実際を知る。	